

JIS

ス キ ー 用 語

JIS S 7018-1990

(2006 確認)

平成 2 年 5 月 1 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

日用品部会 スキー専門委員会 構成表

	氏名	所 属
(委員長)	南 野 竹 男	財団法人長岡テクノポリス開発機構
	森 田 光 俊	通商産業省生活産業局
	細 川 幹 夫	工業技術院標準部
	松 岡 寿 人	財団法人日本文化用品安全試験所
	鈴 木 誠 一	新潟県工業技術センター
	藤 本 定 正	長野県工業試験場
	向 井 正 剛	文部省体育局
	松 井 秀 治	財団法人スポーツ医学研究所
	渋 川 侃 二	中京大学体育学部
	高 村 雄 治	青山学院大学体育研究室
	杉 山 進	社団法人日本職業スキー教師協会
	松 浦 益司郎	財団法人全日本スキー連盟
	鈴 木 祐 一	財団法人日本体育協会
	丸 山 哲 三	日本スキー工業組合
	林 敬次郎	ミスノ株式会社
	棚 橋 良 次	ヤマハ株式会社スポーツ事業部
	川 又 輝 長	社団法人日本スポーツ用品工業協会
	風 間 直 人	株式会社カザマスキー
	西 沢 保 佑	株式会社西沢
	山 崎 富 雄	日本スキーボール工業会
	井 本 忠 博	全日本スポーツ用品卸商組合連合会
	泉 田 弘	日本スポーツ用品輸入協会
	宮 沢 順 一	株式会社シナノ
(関係者)	高 橋 文 男	製品安全協会
(事務局)	工 藤 英 武	工業技術院標準部繊維化学規格課
	門 間 由 洋	工業技術院標準部繊維化学規格課

主 務 大 臣：通商産業大臣 制定：昭和 57.3.1 改正：平成 2.5.1

官 報 公 示：平成 2.5.2

原案作成協力者：社団法人 日本スポーツ用品工業協会

審 議 部 会：日本工業標準調査会 日用品部会 (部会長 吉田 富義)

審議専門委員会：スキー専門委員会 (委員長 南野 竹男)

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部繊維化学規格課 (〒100 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3-1) へ連絡してください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

スキー用語

S 7018-1990

Skis-Terms and definitions

1. 適用範囲 この規格は、アルペンスキー板及びクロスカントリースキー板の主要特性の仕様に必要な用語について規定する。

備考 1. この規格の引用規格を、次に示す。

JIS S 7025 クロスカントリースキー試験方法

2. この規格の対応国際規格を、次に示す。

ISO 6289-1985 Skis-Terms and definitions

2. 分類 用語は、次のとおり分類する。

- (1) スキー板に関する用語
- (2) 設計に関する用語
- (3) 形状に関する用語と記号
- (4) 物理的特性を表す用語
- (5) 締め具取付け範囲に関する用語
- (6) スキー板の性能に関する用語

3. 番号、用語及び定義 番号、用語及び定義は、次のとおりとする。

なお、参考のために対応英語を示す。

備考 用語の中で()を付けて示したものは、その用語が()内に示した分野で使用することを示す。

(1) スキー板に関する用語

番号	用語	定義	対応英語(参考)
101000	スキー板	長さに比べて幅が狭く、滑ることを目的とした板で、先端は障害物を乗り越えるために反り返っているもの。主としてスポーツ及びレクリエーションの用具として用いられるが、その他の目的にも使用される。 この規格では、各種スノースキー板を指す。 参考 英語では、スノースキー板という用語は、アルペン種目及びノルディック種目に使うすべてのスキー板に対する一般用語として使用することがある。ドイツ語及びフランス語には、このような用語は存在しない。	ski
102000	アルペンスキー板	重力を利用して斜面を滑降するために用いるスキー板。方向と速度の制御は、スキー板の縦方向と横方向の動きを組み合わせることによって行う。操縦力を伝えるために、滑走面のエッジには、一般に、耐摩耗性に優れた硬い材料が通常使用される。	alpine ski